

武豊町議会議長 福本 貴久 殿

武豊町議会議員 石川 義治

一般質問の通告について

令和2年第1回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)	答弁者
<p>1. 下水道事業の公営企業会計適用について</p>	<p>【趣旨説明】 総務省が公表しています公営企業会計適用の取組状況によれば、人口3万人以上である全国815の公共下水道事業及び流域下水道事業のうち、810の団体が令和2年4月1日までに企業会計を適用する予定であるとされています。 本町の下水道事業も、この中のひとつとして、令和2年度より、公営企業会計を適用するという事で、本定例会に企業会計による初めての予算案が上程されています。 全国的な課題として、下水道事業などの公営企業を取り巻く経営環境は、急速な人口減少等に伴うサービス需要及び使用料収入の減少や施設の老朽化に伴う更新需要の増大等により、急速に厳しさを増しています。 こうした中で、下水道事業が必要な住民サービスを将来にわたり安定的に提供していくためには、資産及びコストを含む全体の経営状況を的確に把握することが不可欠です。 そのために、今回、全国的規模で、下水道事業への公営企業会計適用が実施されたのだと思います。 しかしながら、企業会計を適用すればそれによしというものではありません。 企業会計を活かした事業経営こそ、今回の企業会計適用の本質であり、今後の下水道事業に求められるものと考えます。 本町の下水道事業が、公営企業会計の適用をどのように捉え、また、今後の事業経営にどのように活用していくのか、以下、お聞きします。</p> <p>【質問事項】 ①どのような経緯で公営企業会計を適用することとなったのか ②公営企業会計を適用するとどうなるのか ③公営企業会計の適用で令和2年度予算はどのように変わったか ④今後、下水道事業をどのように経営していくのか</p>	<p>町長 部課長</p>